

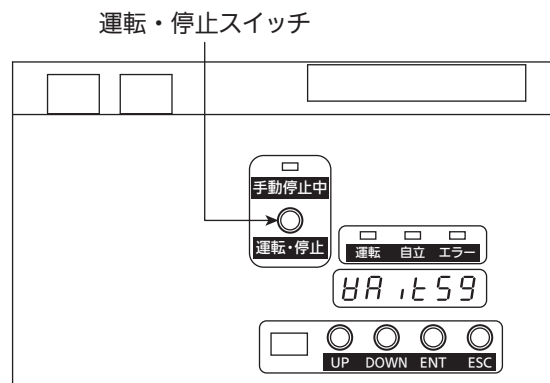
運転モードを切り替える

運転モードを自立運転に切り替えたり、連系運転に戻すことができます。
自立出力端子台は、自立運転モードに切り替えたあとに使うことができます。

1 自立運転モードに切り替える

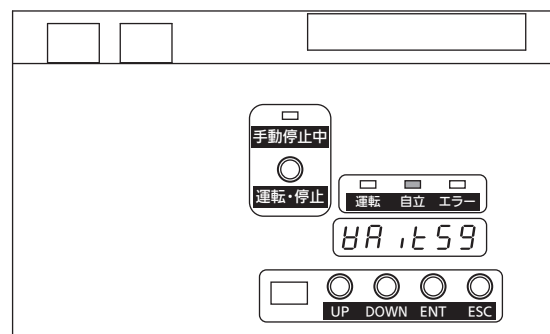
①停電時

運転・停止スイッチを2回押すと、表示パネルでカウントダウンが始まり60秒後に自立運転に切り替わります。



②連系運転時

運転・停止スイッチを押して、停止状態にし、出力ブレーカをOFFにし、運転・停止スイッチを1回押すと、表示パネルでカウントダウンが始まり60秒後に自立運転に切り替わります。



EPU-T99P5-SB,SFは
「OF Grid」表示になります。

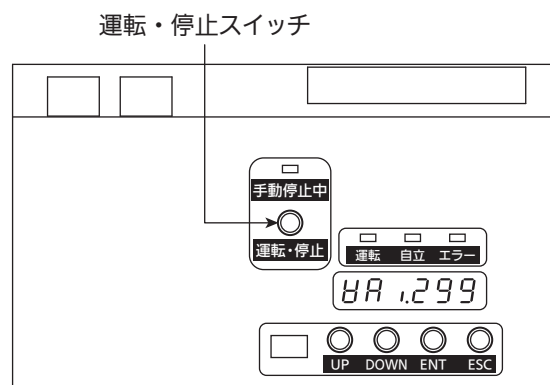
2 連系運転モードに切り替える

①自動復帰設定時

運転・停止スイッチを押して、停止状態にし出力ブレーカを「ON」にし、運転・停止スイッチを1回押すと、300秒後に連系運転に切り替わります。

②手動復帰設定時

運転・停止スイッチを押して、停止状態にし出力ブレーカを「ON」にし、運転・停止スイッチを5秒押し手動復帰後、運転・停止スイッチを1回押すと、300秒後に連系運転に切り替わります。



<ご注意>

- 停電が復旧したら、必ず連系運転モードに戻してください。

複数台運転時の運転モード切り替えについて

パワーコンディショナを複数台接続している場合は、以下の手順で運転モードを切り替えてください。

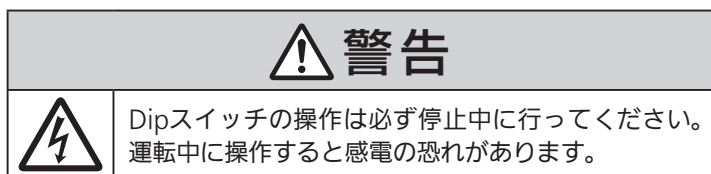
1 自立運転モードに切り替える

マスター機

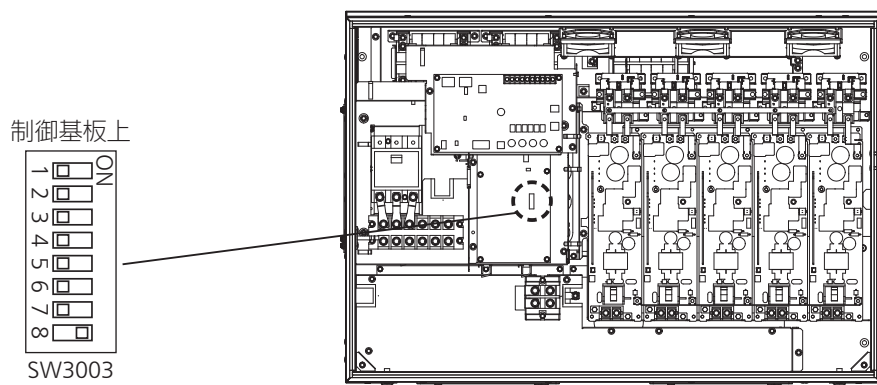
- ①運転・停止スイッチを押して、パワーコンディショナを停止状態にしてください。
 - 連系運転中は停止状態にしたあと、出力ブレーカを「OFF」にしてください。
- ②運転・停止スイッチを押すと、表示パネルでカウントダウンが始まり 60 秒後に自立運転に切り替わります。
※連系時にマスター機を自立モードにした場合は、スレーブ機は連系運転できません。

スレーブ機

- ①運転・停止スイッチを押して、パワーコンディショナを停止状態にしてください。
 - 連系運転中は停止状態にしたあと、出力ブレーカを「OFF」にしてください。
- ②制御基板上の Dip スイッチ (SW3003) のスイッチ 2 を「ON」にしてください。



- ③運転・停止スイッチを押すと、表示パネルでカウントダウンが始まり 60 秒後に自立運転に切り替わります。



2 連系運転モードに切り替える

マスター機

- ①運転・停止スイッチを押して、自立運転を停止状態にしてください。
- ②運転・停止スイッチを押すと、表示パネルでカウントが始まり 300 秒後に連系運転に切り替わります。

スレーブ機


- ①マスター機が連系運転モードになっていることを確認し、運転・停止スイッチを押して、自立運転を停止状態にしてください。
- ② Dip スイッチ (SW3003) のスイッチ 2 を「OFF」にしてください。
- ③運転・停止スイッチを押すと、表示パネルでカウントが始まり 300 秒後に連系運転に切り替わります。

自立運転（停電時に電気機器を使う方法）

自立運転について

自立運転とは停電時に発電した電力を自立出力端子台により供給する機能です。
自立運転のご利用時は、以下の注意事項をよくご覧いただき、正しくお使いください。

<自立運転利用上のご注意>

- 停電が復旧したときは連系運転モードに戻してください。
自立運転は停電時の予備電源としてのみ使用してください。
停電が復旧しても自動で連系運転モードには戻りませんので、運転モードの切り替え（ 16 ページ）を行ってください。
- 夜間、曇天、雨天など太陽電池モジュールが発電していないときは使用できません。
自立出力端子台は、太陽電池モジュール発電が停止すると電力供給が無くなるため使用できません。
- 日照の変化などで発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止する場合があります。
発電電力が自立出力端子台につないだ機器の消費電力より小さくなると、パワーコンディショナは運転を停止します。
- 自立運転時の発電量および消費電力量は積算電力量に反映されません。
自立運転時の発電量と自立出力端子台で消費された電力は実績に残りません。
- 消費電力が大きい機器を使用しないでください。
自立出力端子台で使用できる電力は最大 2000W × 2 系統までです。
発電状況により使用できる電力が変動する場合がありますので、消費電力が小さな機器を使用してください。



警告

- 太陽電池の発電量は天候により変化します。曇っていたり、降雨があると発電量が大きく低下しますので、自立出力端子台に接続した機器は、突然停止しても安全性に問題がないことを確認してください。
- 以下の機器は自立出力端子台に接続しないでください。
 - 医療機器、灯油やガスを用いる暖房機器
 - 電池でバックアップされていないパソコンやワープロなどの情報機器
 - その他、突然停止すると生命や財産に損害を与える機器
- 自立運転する場合は、出力ブレーカを「OFF」にしてください。
- 連系運転中、自立出力端子台には機器を接続しないでください。